

(端裏書)

「護法院 万里小路民部卿」

以手紙得御意候然<sub>者</sub>

兼<sub>而</sub>御存知被成候

通大谷九右衛門事

京都御外戚清水谷

前大納言殿<sub>江</sub>御心安

御出入仕候故彼御方

より御頼有之

宮様<sub>江</sub>御目見等

被仰付候事<sub>ニ</sub>御座候

此度九右衛門

公儀<sub>江</sub>之願之筋

相済国元伯州

米子<sub>江</sub>罷帰候由、就夫

九右衛門義米子御城主

不相替只今迄之通

御憐愍之御申付被

遣候ハ、

宮様御悅可被思召候

間此等之趣無急度

貴院より御檀家役人

中迄右之趣宜御申

入可被成候、以上

十二月十八日